

日本政府と国際社会が一致結束してあらゆる覇権主義を許さない立場に立つことを求めます

2022年2月26日 松戸革新懇世話人・事務局長 室谷勉

市民のみなさん。ロシアのプーチン政権によるウクライナ侵攻はいかなる大義もなく、ウクライナの主権の侵害、侵略です。平和・民主・くらしの共同目標をかかげ、活動する松戸革新懇として、強く抗議します。

私たちは戦争放棄を謳った憲法9条に誇りを持っています。そして紛争は平和的外交で、の精神は国連憲章や国際法にも結実しています。こうしたもと、今回のウクライナ侵攻は、世界と市民社会の努力を踏みにじる蛮行です。

軍事行動は一般市民や子どもたちの命を奪います。直ちに中止・撤退を求めます。

また、プーチン大統領は「ロシアは核保有大国だ」と世界を威嚇しています。核兵器の先制使用宣言に等しい恐るべき発言です。核兵器禁止条約の発効、「核兵器のない世界へ」の流れの中で絶対に許されるものではありません。被爆国日本の市民として糾弾します。

市民のみなさん。“ロシア・プーチンはウクライナ侵攻をやめろ”の声をあげ、世界と連帯し、ロシアを包囲しましょう。